

『日本労働研究雑誌』 総目次

2018年1～12月号 (No. 690～701)

(提 言)

好みと賃金格差	大竹 文雄	690
技術と歴史と国際と	玄田 有史	692
多面的な検討が求められる	市川 昭午	694
労働者の休職と復職——その勤どころ	大西 守	695
多面的なグローバル化の影響を冷静に理解しよう	櫻井宏二郎	696
職業をめぐる4レベル	諏訪 康雄	697
中途採用拡大のすすめ	仁田 道夫	698
ジェンダー視点からの男性労働研究の本格的ステージへ	木本喜美子	699
民法と労働法の「交錯」?	内田 貴	700
雇用管理区分差別の合理性	浅倉むつ子	701

(論 文)

〈格差と労働〉		
所得格差の要因と2010年代における動向	石井加代子	690
管理職への到達をめぐる不平等——世代間移動と職業 キャリアの視点から	竹ノ下弘久	690
格差は主観的なウェルビーイングに影響を与えるのか	浦川 邦夫	690
人口構造の変化と経済格差	白波瀬佐和子	690
ネットワークと階層性	石田 光規	690
労働法における正規・非正規「格差」とその「救済」 ——パートタイム労働法と労働契約法20条の解釈を 素材に	神吉知郁子	690
〈2017年労働政策研究会議報告〉		
(パネルディスカッション「非正規社員の処遇をめぐる 政策課題」)		
非正規雇用の雇用保障法理および処遇格差は正法理の正 当化根拠をめぐる一考察	大木 正俊	691
非正規雇用と正規雇用の格差——女性・若年の人的資本 拡充のための施策について	永瀬 伸子	691
日本の労働市場の変質と非正規雇用の増加——同一労働 同一賃金をめぐって	樋口 美雄	691

非正規雇用者の組織化と発言効果——事例調査とアン ケート調査による分析	前浦 穂高	691
(自由論題セッション●第2分科会(組織とHRM))		
構成員のワーク・ライフ・バランスにつながる管理職の 行動特性	高村 静	691
副業を含む社外活動とジョブ・クラフティングの関係性 ——本業に対する人材育成の効果の検討	石山 恒貴	691
フリーランサーが場を共有して働くことの意義——アニ メーターの労働過程を事例として	松永伸太郎	691
(自由論題セッション●第3分科会(キャリアに関する 研究))		
IT人材の長期戦力化に向けたキャリア開発——中高龄 IT人材10名のプロジェクト経験分析	吉田 康太	691
「キャリア自律」はどんな企業で進められるのか——経 営活動・人事労務管理と「キャリア自律」の関係	藤本 真	691
〈この国の労働市場〉		
横断的論考	濱口桂一郎	693
アメリカの労働市場	恩田 正行・賀茂 美則	693
イギリスの労働市場	八代 充史	693
ドイツの労働市場	シュテフェン・ハインリッヒ	693
フランスの労働市場	鈴木 宏昌	693
オランダの労働市場	権丈 英子	693
スウェーデンの労働市場	鈴木 賢志	693
韓国の労働市場	金 東 培	693
〈高等教育における人材育成の費用負担——どのよう に次世代を育てるのか〉		
高等教育費負担の国際比較と日本の課題	小林 雅之	694
奨学金制度の歴史の変遷からみた給付型奨学金制度の制 度的意義	白川 優治	694
学歴収益率についての研究の現状と課題	北條 雅一	694
高等教育無償化政策と大学再編の可能性		

.....	山本 清	694
国立大学法人の運営財源と人材育成・養成		
.....	水田 健輔	694
〈休職と復職——その実態と課題〉		
日本における休業・休職——公的統計による把握		
.....	太田 聡一	695
傷病休職をめぐる法的課題	水島 郁子	695
健康資本投資と生産性	黒田 祥子	695
中小企業における労働生産性の損失とその影響要因		
.....	古井 祐司・村松 賢治・井出 博生	695
リワークプログラムの現状と課題	五十嵐良雄	695
〈グローバル化と労働市場——マクロ・ミクロの影響〉		
グローバル化と労働市場——産業構造変化を通じたマクロ生産性への影響	伊藤 恵子	696
労働市場のグローバル化と労働者意識——誰が移民受け入れに反対なのか？	萩原 里紗・影山 純二・佐藤 一磨・寺村絵里子	696
外国人労働者の就労問題と改善策	守屋 貴司	696
現地採用で働く日本の若者——デュッセルドルフとバンコクの事例分析から	丹羽 孝仁	696
日本企業の海外子会社における現地従業員の活用——意思決定権限の観点から	大木 清弘	696
21世紀における国際労働基準の役割と課題		
.....	吾郷 眞一	696
〈職業と労働市場〉		
職業の区分法と日本の職業別就業構造		
.....	西澤 弘	697
階級・階層研究における多様な職業的地位尺度の比較分析	長松奈美江	697
技術と職業構造と労働市場	神林 龍	697
内部労働市場におけるキャリアとしての職業		
.....	宮本 光晴	697
労働立法における「職業の安定」と労働市場の法規制——労働権保障の実現のために	有田 謙司	697
「労働と教育」再考	小玉 重夫	697
〈人事部の役割・機能と歴史〉		
個別人事における人事部門の役割——戦後史研究の視点から	青木 宏之	698
日本企業における人事部門の企業内地位		
.....	高貫 智行	698
使用者の配転命令権と雇用保障	金井 幸子	698
欧州の人事部——ドイツ企業における人事部・人事担当責任者の役割と企業内地位	石塚 史樹	698

人事部機能の集権化・分権化の方向性とその課題——日系企業と外資系企業の比較から	一守 靖	698
〈男性労働〉		
男性労働に関する社会意識の持続と変容——サラリーマンの働き方の標準性をめぐって	多賀 太	699
男性1人働きモデルの揺らぎとその影響		
.....	小笠原祐子	699
育児・家事と男性労働	石井クンツ昌子	699
男性の介護労働——男性介護者の介護実態と支援課題		
.....	津止 正敏	699
女性に偏る職業で男性は何をしているか——男性保育者の事例から	中田 奈月	699
剥奪（感）の男性化 Masculinization of deprivation をめぐって——産業構造と労働形態の変容の只中で		
.....	伊藤 公雄	699
〈民法と労働法の交錯〉		
「雇用」「請負」「委任」の境界と雇用契約規定の有用性		
.....	芦野 訓和	700
民法改正は労働契約論見直しの好機となりうるのか		
.....	高橋 賢司	700
労働法における労働者の自由意思と強行規定——民法改正を踏まえて	皆川 宏之	700
契約締結の自由と採用の自由——締約強制を中心に		
.....	大木 正俊	700
〈働き方改革シリーズ1 「同一労働同一賃金」〉		
雇用形態間賃金差の実証分析	川口 大司	701
パートタイム・有期労働法の制定・改正の内容と課題		
.....	島田 裕子	701
派遣先均等・均衡待遇原則と労働者派遣		
.....	小西 康之	701
総合スーパーのパートの基幹化と均衡・均等処遇の取り組み——A社の2000年以降の人事制度の変遷の事例から	平野 光俊	701
正社員と非正社員の賃金格差——人事管理論からの検討		
.....	高貫 智行	701
(論文要旨)		
〈2017年労働政策研究会議報告〉		
(自由論題セッション●第1分科会(労働法と労使関係))		
海外や日本におけるクラウドワーカーの現状や課題——新しいワーキングプアや貧困・格差の拡大を防ぐ対策の実施を	金 明 中	691
連合(日本労働組合総連合会)は何をしているのか——		

.....	篠田 徹	691
IIRA 創立 50 年を振り返って	花見 忠	691
(自由論題セッション●第 3 分科会 (キャリアに関する研究))		
日本の雇用の場における高齢者と若年者の代替性について の理論的検討	岸田 泰則	691

(紹介)

〈高等教育における人材育成の費用負担——どのように次世代を育てるのか〉		
大学夜間学部という選択肢——学生生活とキャリア形成の機会	大島 真夫	694
〈休職と復職——その実態と課題〉		
リワーク支援の取組について——千葉障害者職業センターにおける支援の紹介	森 誠一	695
〈職業と労働市場〉		
職業教育訓練からみたわが国の職業能力評価制度の現状と課題	谷口 雄治	697
〈人事部の役割・機能と歴史〉		
グローバル経営に資する人材戦略と人事部門の変革——日立製作所の事例	山口 岳男	698
〈男性労働〉		
性の多様性を前提にした職場環境づくりを考える	村木 真紀	698

(論文 (投稿))

都道府県の相対的貧困率の計測と要因分析	田辺 和俊・鈴木 孝弘	692
学童保育の拡大が女性の就業率に与える影響	平河茉莉絵・浅田 義久	692
企業内労働市場における転職と昇進の関係	佐藤 香織	695
就職活動支援プログラムが求職者の意識や意欲に与える影響——大阪わかものハローワークにおける「就活クラブ」の事例	黒川 博文・小原 美紀	697
労働市場の潜在構造と雇用形態が賃金に与える影響——Finite Mixture Model を用いた潜在クラス分析	鈴木 恭子	698

(研究ノート (投稿))

無限定正社員と限定正社員の賃金格差	安井 健悟・佐野 晋平	
-------------------------	-------------	--

(学界展望)

労働経済学研究の現在——2015～17年の業績を通じて	大石亜希子・近藤 絢子・佐野 晋平・山本 勲	692
-----------------------------------	------------------------	-----

(ディアローグ)

労働判例この 1 年の争点	野田 進・奥田 香子	700
---------------------	------------	-----

(労働政策の展望)

労基法労働時間法制からの脱却を	毛塚 勝利	690
賃金の上げ方・抑え方	仁田 道夫	692
副業・兼業, テレワーク, そして高齢者就業	諏訪 康雄	694
人生 100 年時代の生き方, 働き方	袖井 孝子	697
これからのキャリアコンサルティングに求められるもの	木村 周	701

(書評)

三井正信 著『フランス労働契約理論の研究』	細川 良	690
鎌田耕一・諏訪康雄 編著／山川隆一・橋本陽子・竹内(奥野) 寿 著『労働者派遣法』	本庄 淳志	692
八代充史 著『日本の雇用制度はどこへ向かうのか——金融・自動車業界の資本国籍を越えた人材獲得競争』	白木 三秀	692
神林龍著『正規の世界・非正規の世界——現代日本労働経済学の基本問題』	玄田 有史	693
田中弘美 著『「稼得とケアの調和モデル」とは何か——「男性稼ぎ主モデル」の克服』	金野美奈子	693
中村二郎・菅原慎矢 著『日本の介護——経済分析に基づく実態把握と政策評価』	小原 美紀	695
森下之博 著『中国賃金決定法の構造——社会主義秩序と市場経済秩序の交錯』	郷 庭雲	695
金 英 著『主婦パートタイマーの処遇格差はなぜ再生産されるのか——スーパーマーケット産業のジェンダー分析』	西野 史子	696
西村健 著『プロフェッショナル労働市場——スキル形成・賃金・転職の実態分析』	三輪 卓己	697
大内伸哉・川口大司 編著『解雇規制を問い直す——金銭解決の制度設計』	野川 忍	698

林祥平 著『一体感のマネジメント——人事異動のダイナミズム』	八代 充史	699
三具淳子 著『妻の就労で夫婦関係はいかに変化するか』	中川 まり	700

(読書ノート)

玄田有史 編『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』	猪木 武徳	690
川口大司 編『日本の労働市場——経済学者の視点』	清家 篤	694

(論文 Today)

顧客に対する「演技疲れ」の緩和——緩和方略としての援助行動	松下 将章	690
参照点依存ジョブ・サーチ	三浦 貴弘	692
包括的経済貿易協定 (CETA) および環大西洋貿易投資パートナーシップ協定 (TTIP) の社会的基準への影響	井川 志郎	693
リーダー開発に資する経験の種類と、リーダーエフェクティブネス (Leader Effectiveness) および昇進可能性 (Promotability) との関係性について：リーダーシップ自己効力感とメンターネットワークの媒介効果・役割	田中 大貴	694
メンバーが利他的であるほどチームはうまく機能すると言えるのか——チームワークメカニズム解明の糸口としての利他性概念について	シン ハヨン	695
新規事業の機会形成を促す上級管理職の役割	田中 聡	696
男女間の教育水準格差・賃金水準格差が減少しているのに家計内における家計内労働・賃金発生労働の男女間の役割分担の変化の速度が遅いのは何故なのか？	西村 仁憲	697
ポスト工業社会における出産の理想と意思、ジェンダー不平等——比較定性分析から	鈴木 由真	698
デジタル化された労働世界における争議行為	植村 新	699
大学専攻間賃金格差は景気変動の影響を受けるか？——労働市場参入時の景気状況と労働市場成果の視点から	前田 一樹	700
組織内公正性はいつでも従業員のストレスを軽減するか	中津 陽介	701

(フィールド・アイ)

転職市場に見る日米労働市場の違い (ワシントン DC から①)	宮本 弘暁	690
テクノロジー失業 (ワシントン DC から②)	宮本 弘暁	692
ジェンダー平等 (ワシントン DC から③)	宮本 弘暁	693
労働経済学とデータ (カリフォルニア・アーバインから①)	原 ひろみ	694
日本食を通じた交流とフェアな家事分担 (カリフォルニア・アーバインから②)	原 ひろみ	695
スイスの労働事情 (ジュネーブから)	竹内ひとみ	696
ニューヨークとファイト・フォー・\$15 (ニューヨークから①)	池田 悠	697
ニューヨークとシェアリング・エコノミー (ニューヨークから②)	池田 悠	698
ニューヨークと労働法の死にゆく国 (ニューヨークから③)	池田 悠	699
平等主義社会に暮らす (ノルウェーから①)	小野坂優子	700
生産性と労働時間 (ノルウェーから②)	小野坂優子	701

(発表)

第41回 (平成30年度) 労働関係図書優秀賞	701
第19回 (平成30年度) 労働関係論文優秀賞	701